

蘇れ!海・森・大地をつらぬく生命の記憶

私たちの心の底には太古の記憶が眠っている。

生命を産み出した「海」地球を多様な生命満ちる緑の星へと変貌させた「森」。
太古の生命の記憶のままに縄文人は大自然とともに生き、母なる大地の肉である
土に手を加え造形し、木を燃やし火の力をもって土器や土偶を作ってきた。

秋の縄文野焼き祭り

2024年10月13日(日) (雨天時14日)

【時間】午前9:00～午後4:00

【会場】猪風来美術館前広場(駐車場あり) 入場無料

●縄文野焼き大賞

焼き上がった作品から表彰されます!

●縄文 大地の精霊ダンス

縄文土器文様から再現創作したダンス。作品の焼き上がり後に皆で輪になって踊り、大地と炎への感謝を表します。

世界最古級の土器文化『縄文』は1万年以上も持続し、自然に依拠した豊かな精神性を内包した争いのない時代。縄文土器・土偶の造形・文様には、生命の生死再生を願い、大地に生命が満ち溢れますようにと祈る縄文人の世界観が現れています。

現代文明の発達をもたらした地球の危機的状況、それを打破していく根源力が縄文にはあり、大地と心を結び生きとし生けるすべての生命を尊く思う人々が、縄文の心と技を学びにここに集う。そして縄文土器・土偶作りを通して文様・造形の真髄に触れ、大地に根ざした生命の世界を表現し、新しい現代縄文アートを創造します。縄文時代と同じように大地の野炉で太陽や風や火の力によって焼き上げる「縄文野焼き祭り」は大地に抱かれて生きる縄文スピリットの真髄そのものです。

今春の企画展「火焰土器展」の5000年前の縄文人たちの手の跡残る貴重な土器を間近に見て模写した縄文作家たちの土器土偶、また関連ワークショップでの作品も今回野焼き。縄文の炎を囲み、縄文からの生命のメッセージ(太古からの生命の記憶)をご体感ください。